

【議事】定 44

(2)H- A ロケット 11 号機による技術試験衛星 型(ETS- )の打  
上げ準備状況について

JAXA の有賀次長が資料 44-2-1(ロケットの準備状況)を説明し、  
JAXA の本間室長が資料 4-2-2(衛星の準備状況)を説明した後、  
下記のような質疑応答があった。

青江:新聞記事によると、ETS- の大型アンテナについて期待する  
という声と、期待できないという声が、色々と書かれている。よ  
く徹底するように努力<sup>1</sup>願いたい。

JAXA 本間:わかりました。

青江:携帯端末で通信するとか、ETS- には目論見がある。これが  
しっかり伝わっていないのではないかと危惧する。

JAXA 本間:説明はしっかりとしているのであるが、伝わっていない。  
このアンテナは世界最大である。アメリカに前例はあるがそれ  
より高性能である。1 世代前位の大きさの携帯端末で、通信  
できる。また、アンテナはモジュールタイプなので、更に大きく  
する必要があれば、柔軟に対処できる。

青江:次世代の通信衛星として世界をリードする技術が開発できた。

---

<sup>1</sup> 徹底できるか否かは半分以上が聞くほうの努力に係っている。通  
信実験の成果が出てから、やっと聞く耳ができるのではないか。ま  
だ、打ち上がってもいない衛星に対し、このように性急に迫られたら、  
JAXA は反応の仕様がなくなる。通信の世界では地上の開発サイク  
ルの方が格段に短い。それを解った上で、通信衛星の開発戦略を  
議論していただきたい。

ところが受注があるのかということそうでもない。3 トン衛星のバ  
スかとか、なかなか進んでいない。

JAXA 本間:(余りはっきりしない、つかみどころの無い回答)

青江:ETS- で此処までいったのだということを国民に知らしめる  
必要がある。しっかり取り組んで貰いたい。

森尾:携帯端末を使うということであるが、回線数はどの位あるの  
か。

JAXA 本間:500 回線である。携帯電話の場合 1 回戦当たりの加入  
者数が 100 くらいであるから、4~5 万人の加入者<sup>2</sup>が使えるこ  
とになる。回線数は周波数割り当ての問題であり、実用衛星  
の場合には回線数を増やすのは容易になる。

井口:その成果も打ち上げに成功してのものである。最後まで虫出  
しをし、成功させていただきたい。

JAXA 有賀:現地では河内山が先頭に立ち、鋭意準備を進めている。  
ご安心頂きたい。

JAXA 本間:衛星も現地プロマネががんばっている。

---

<sup>2</sup> 結構大きな数字である。都道府県庁か警察に 100 台ずつ購入し  
てもらい、災害時には近隣から借り集めるようにすれば、緊急通信  
体制が確保できるのではないだろうか。一般ユーザーの興味を引く  
ことより、ナショナルセキュリティに縁の深い特殊なユーザーに対応  
するのが良いのではないか。